



9月18日(月)、高田宮杯U・18サッカーリーグ2023青森県2部リーグ最終戦が行われた。結果、最終順位リーグ3位となり、今年度、2部リーグを戦っていた本校サッカー部の1部昇格が決まった。来年度、厳しい相手にどんな戦いを見せてくれるか楽しみだ。

《試合結果》

【第10節】
向陵 3・1 光星2nd
〈得点〉3年 有川 輝優(小田原市立南中学校出身)
3年 山家 昌吾(平塚市立平塚中学校出身)
2年 出川 憐(白銀南中学校出身)

【第11節】

向陵 4・1 ラインメール青森U・18
〈得点〉3年 細越 朝陽(第一中学校出身) 2
3年 宮古 理人(湊中学校出身)
2年 出川 憐(白銀南中学校出身)

【第12節】

向陵 0・8 青森山田4th

【第13節】

向陵 5・2 ヴァンラーレ八戸2nd
〈得点〉3年 徳田 琉星(静岡市立神原中学校出身) 2
3年 細越 朝陽(第一中学校出身) 2
3年 山家 昌吾(平塚市立平塚中学校出身)

【第14節】

向陵 2・2 野辺地西2nd
〈得点〉3年 細越 朝陽(第一中学校出身)
2年 岡本 宏哉(種市中学校出身)

《2部リーグを振り返って》

部長 3年 山家 昌吾
(平塚市立平塚中学校出身)
初戦、勝ちきれぬ試合で勝てなくて、自分たちらしい試合ができないときもありましたが、最終順位は3位でした。結果的には1部リーグに昇格することができましたが、自分たちのプレーはもっとよくなったと思っています。しかし、1部へ昇格という結果を残せたことは良かったです。来年度は、さらに相手のレベルが上がります、苦しい試合が多いと思いますが、勝ちにこだわらず、どんな状況においても自分たちのサッカーを出せるようにしてほしいと思います。自分たちのサッカーが出れば結果もついてくると思います。また、試合を通して学んだことを高総体として選手権大会にも生かしてほしいと思います。

次戦は、第102回全国高校サッカー選手権大会青森県大会となる。10月20日(金)に開会式、21日(土)から試合が始まる。本校は、初戦、八戸北高校と戦う。

学校華道花展



9月9日(土)、10日(日)に行われた学校華道花展に華道部部長の伊藤柊香さんが参加した。花展は、華道家元池坊八戸支部が主催し、番町サテライトキャンパスにて開催。八戸工業大学第二高等学校・付属中学校、旭ヶ丘幼稚園、本校が参加した。

部長 3年 伊藤 柊香(根城中学校出身)
3年生になって初めて「花展」を通して他の人々と交流することができました。いつもは、先輩や先生と活動し、他の作品を見ることもなかなかないので、花展に参加できたことは良い経験となりました。花材の多い少ないに関係なく、刺激をもらい視野が広がったような気がします。生け方は、十人十色で「見る」だけでも勉強になりました。まもなく文化祭、多くの方々に自分たちのお花を見ていただきたいです。

秋祭りで演奏

9月16日(土)、医療法人青仁会主催のふれあい秋祭りに本校太鼓部、軽音楽部(映像のみ)が参加した。ここ数年はコロナウイルス感染症の影響もあり、収録した映像を見ていただくという形式に留まっていたが、久しぶりの対面交流となった。利用者の方々は太鼓の音に合わせて手拍子したり、踊るような手の動きを見せたりし盛会のうちに終了した。太鼓部員は、利用者の方々が

が集まるスペースへ移動しながら4回の演奏をこなした。「演奏回数が多かったので大変だった」と話した部員たちだが、その顔は充実感であふれていた。

部長 3年 水田 幸真(市川中学校出身)
今年は、先月のおまつり広場、三社大祭りに続き、ボランティア講座、今回のふれあい秋祭りに参加させていただきました。練習の成果を披露する場を与えてくれた方々に心から感謝しています。昨年まで、練習していても、披露する場もなく、観客と触れ合う場もなく過してしまいました。しかし、直接演奏を聞いて下さった方々から、その場で感想をいただけることは本当に嬉しいのです。今後とも聞いて下さった皆さんが元気になるような演奏を届けられるよう練習を頑張りたいと思います。

2年 三ツ井諒介(階上中学校出身)
とても緊張しましたが、皆さんが大きな拍手をして下さったことで、やって良かったと思います。これまで、校内での発表や映像のみでの発表だったので、お客様の前で演奏は、戸惑うこともありましたが、練習通りできたことで自信になりました。もっと練習をしてより良い音を届けたいです。

緊張せず、いつも通り演奏することができました。見て下さった人たちの表情がマスク越しでも楽しそうだったので、自分たちが誰かの役に立っているという気がしました。心に響く音を出せるようこれからも練習に励みたいです。





challenge

9月12日(火)、ボランティア講座を行った。各コース清掃活動を中心に行ったが、老人福祉施設では、軽音楽部、太鼓部が演奏を披露した。久しぶりの対面での活動に生徒たちも利用者の方々も笑顔があふれていた。

修光園コース

2年 林 玲音(鎌倉市立大船中学校出身)



今回、修光園に行ってきたことは、年配の方も職員の方も皆家族のように仲が良いということです。自分の勝手なイメージですが、老人施設は、少し暗い雰囲気のところだと思っていた。しかし、そのイメージとは真逆でした。体験中、職員の方から介護職の説明を聞きました。年配の人たちは、入浴や掃除といった生活にも困難を感じることもあり、それを支える職員は体力的にも精神的にも凄く大変だと感じました。自分は体力はありますが、体力だけではできない仕事なので介護職に就いている方々を尊敬します。

3年 工藤 珠妃(下長中学校出身)

最初に施設内の見学をしました。浴室は、座ったまま湯船に入る機械がついていて、とても工夫されていると思いました。職員の方々が沸かすのではなく自分で蛇口をひねって調節しなければいけないそうです。お湯の温度が80度になって死亡事故が起こった他の施設での事例をお話しされ、自分たちの仕事は責任を負わなければいけないと話していたのが印象に残っています。人の命を預かる介護の仕事は、軽い気持ちではできない仕事ではないと思います。次に車椅子に乗ったり、押ししたりする体験をしました。思っていたより押すのが難しく、驚きました。最後に車椅子を拭きました。隅々まで拭いて綺麗になっていくのが気持ち良かったです。軽音楽部が歌ったときに、感動して泣いている方がいて、こっちまで嬉しくなりました。



寿楽荘コース

1年 巻 勇樹(第一中学校出身)



私は、祖母と仲が悪いので、寿楽荘が老人ホームだと知って、正直少し暗い気分になりました。しかし、そんな理由で迷惑をかけるわけにはいかないのです。1年生の役割であった草取りはしっかりと終わらせることができました。午後は、敬老会の準備をしました。準備の手伝いは、もう少ししてあげたいなと思いました。先生に言われてから気づくということが多かったので、次は周りをよく見て、自分から積極的に手伝うようにしたいです。敬老会では、軽音楽部の演奏や職員の方によるマジックがあったりとボランティアに行ってきた自分たちも楽しい時間を過ごしました。

敬老の日まであと少しなので、祖母と少し話そうと思っています。



青南病院コース

2年 石渡 愛斗(第一中学校出身)

午前は、施設内の片付けをしたり、利用者の方と一緒に運動をしたりしました。その後、利用者の方に昼食を食べさせているところを見学してもらいながら、介護士の方と話をしました。介護士の仕事は、相手の状況に合わせて食事の管理や運動などの計画をしなければならず、コミュニケーションを取ることが難しい場合もあることを知りました。その難しさから仕事を辞める人もいる介護の現状

にも触れることができました。午後は太鼓の演奏を披露しました。皆さん、喜んで下さったのが嬉しかったです。

3年 大久保幸都嘉(長者中学校出身)

青南病院では、最初に窓拭きの手伝いをしました。上の方は、手が届かず汚れを取るのが大変でした。次は、洗面台とベッドの下を掃除しました。ベッドの下は、日頃なかなか掃除が行き届かないことので、ほりが多かったので念入りに掃除しました。綺麗になっていくのが気持ち良かったです。その後の太鼓部の演奏は、迫力があり、職員の方も利用者の方も楽しそうに聞いていました。体験を通して、仕事の大変さ、仕事をする意味を知ることができました。



青南病院では、最初に窓拭きの手伝いをしました。上の方は、手が届かず汚れを取るのが大変でした。次は、洗面台とベッドの下を掃除しました。ベッドの下は、日頃なかなか掃除が行き届かないことので、ほりが多かったので念入りに掃除しました。綺麗になっていくのが気持ち良かったです。その後の太鼓部の演奏は、迫力があり、職員の方も利用者の方も楽しそうに聞いていました。体験を通して、仕事の大変さ、仕事をする意味を知ることができました。

千葉幼稚園コース

2年 下沢 南々実(是川中学校出身)

私は、子供が少し苦手です。どのような接し方をすれば良いかわからなかったです。でも、子供たちが笑顔で迎えてくれたので、楽しく接することができました。また、小さい子供たちなので怪我をしないように気を遣い、それだけでも少し疲れました。保育士の皆さんたちは、毎日子供たちのお世話をされていて、尊敬しました。午後は、子供たちのために段ボール迷路制作の手伝いをしました。少しでも子供たちが喜んでくれたら嬉しいです。今回の活動で子供が少しは克服できたと思います。子育てはこれ以上で大変だと考えたら両親に感謝しかないです。親孝行ができるよう頑張ります。



私は、子供が少し苦手です。どのような接し方をすれば良いかわからなかったです。でも、子供たちが笑顔で迎えてくれたので、楽しく接することができました。また、小さい子供たちなので怪我をしないように気を遣い、それだけでも少し疲れました。保育士の皆さんたちは、毎日子供たちのお世話をされていて、尊敬しました。午後は、子供たちのために段ボール迷路制作の手伝いをしました。少しでも子供たちが喜んでくれたら嬉しいです。今回の活動で子供が少しは克服できたと思います。子育てはこれ以上で大変だと考えたら両親に感謝しかないです。親孝行ができるよう頑張ります。

芽生保育園コース

3年 川畑 虎太郎(北稜中学校出身)

普段、小さい子供たちと関わる機会がないので、とても心配でした。しかし、散歩先で鬼ごっこなどをして交流すると楽しく遊ぶことができました。また、小物づくりの手伝いでは、保育園の先生が素早くそして丁寧に作業をしていて勉強になりました。保育園の先生たちは、安全第一で子供が好きなことも伝わってきました。私もあと少しで社会人として働くので、コミュニケーション能力を身につけ、仕事を素早く丁寧に行いたいと思いました。



最初に園児たちが使うテーブルの清掃作業をしました。隅々まで綺麗にするよう心がけました。続いて園児たちとの触れ合いでしたが、元気がある子と静かな子、それぞれいました。私のグループは散歩することになったのですが、担当の子供たちは緊張気味で初めはお話ができませんでした。ですが、お話ができなくても、こちらから声を掛けると少しずつお話ししてくれました。歩くとき、スピードを園児に合わせたり、少しかがんだりしながら園児の負担にならないように気をつけ、言葉を難しくしないように意識しました。また、私たちを見つけるとすぐに駆け寄ってくる子供たちが多かったため、一人一人しっかりと受け答えをするようにしました。初めは子供たちとの触れ合いに迷いもあり、先生に助けを求めましたが、子供たちの純粋さで緊張も和らぎました。なにより、担当した子供たちの笑顔が増えていくことにやりがいを感じました。午後は、裏方の手伝いをしました。ハロウィンに展示するお化けの制作をしました。私は不器用でハサミで切る作業は、いびつな形になってしまい苦戦しました。改めて考えてみると、私が通っていた保育園で

も、先生が物を作ったり、活動しやすいよう掃除をしたりと行ってくれていたのだと、先生方の姿を見て思いました。短い時間でしたが、とても勉強になりました。

種差海岸コース

1年 菊地 遥斗(白山台中学校出身)

渡された用具は、粗末に扱わず清掃活動に取り組みことができました。大きすぎて拾えないゴミもありましたが、拾える範囲で目立つゴミをできる限り回収しました。地元の自然を守る清掃活動に貢献することができたと思います。朝に海辺を歩き、清掃活動をするのはなかなか経験できないことであり、やっつけて気持ち良かったです。



2年 富田 奏翔(目黒区大島中学校出身)

白浜海岸、種差海岸のゴミ拾いを行いました。今回は気温が高く予定の半分しか作業できなかったため、次回やるなら全部やってみたいと思いました。インフォメーションセンターで種差が三陸復興国立公園ということを知りました。今回の講座を通して、八戸のこと、海洋問題などについて知ることができました。

3年 山口 大地(三戸中学校出身)

砂浜を歩いてゴミ拾いを行いました。作業をして感じたことは、ペットボトルやビニールなどの破片といったゴミが多いということです。それを見て海洋汚染が本場に進んでいることを実感しました。なので、今回のようなゴミ拾い活動はとても大事だと思います。また、インフォメーションセンターで三陸海岸のことを詳しく聞きました。改めて、青森県が世界に誇る綺麗な海岸を大事にしていかなければならないと思います。免許を取ったらドライブしてみたいです。

